キャラクター名
戸張 命(とばり みこと)

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハィロゥ モルフェウス	ワークス	FHエージェントB	カヴァー	女子高生
オプショナル	オルクス	年齢	16	性別	女
覚醒	死	衝動	殺戮	初期侵食率	39 %
出自	天涯孤独	経験	敵性組織	邂逅	欲望；生存

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1		0			1
感覚	5	1	0			6
精神	1		0			1
社会	1		0			1

HP	23
行動値	13
(非装備時)	13
戦闘移動	18
全力移動	36

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃	1		ＲＣ	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	4	
運転：			芸術：			知識：機械操作			情報： FH	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
高速振動ブレード	
スカイキッド	
コーリングシステム	
多機能ヘルメット	
キーンナイフ	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
強化兵	P	N		
都築京香	P 慕情	N 隔意		
《アワナギ》	P 誠意	N 隔意		
《鯨》	P 親近感	N 不快感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 10	残り財産P： 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
黄金錬成	2	ー	常時	至近	自身	自動	ー	
効果： 常備化P＋Lv×10								
サポートデバイス	2	6	セット	至近	自身	自動	80	
効果： 【感覚】ダイス+Lv×2								
光の舞踏	1	2	メ/リ	武器	-	-	-	
効果： 白兵を【感覚】で判定可能								
神の眼	1	1	リアク	至近	自身	対決	-	
効果： 〈知覚〉ドッジを行える								
コンセ：エンハイ	2	2	メジャー	-	-	対決	-	
効果： メジャーC値-Lv								
リフレ：エンハイ	2	2	リアク	-	-	対決	-	
効果： リアクションC値-Lv								
妖精の手	2	4	オート	視界	単体	自動	-	
効果： 判定ダイス1つを10に変更する								
支配の領域	2	6	オート	視界	単体	自動	-	
効果： 対象の判定ダイスを1に変更								
絶対支配	2	4	オート	至近	自身	自動	リミ	
効果： 対象の判定ダイス[Lv+1]を1に変更								
カスタマイズ	2	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果： ダイス+Lv								
剣精の手	2	2	オート	至近	自身	自動	リミ	
効果： 判定ダイス1つを10に変更する								
運命の切り替え	2	3	オート	視界	単体	自動	ー	
効果： 対象のドッジ代替　シナリオLv回								
反転する運命	1	4	オート	至近	自身	自動	リミ	
効果： ↑の効果に加え、その攻撃を反射								

・元UGN。相手を殺せない、自分の生存の為に全力を尽くせないUGNに合わず、都築京香に誘われた事でFHに入った。
・自身の関係する運命に干渉する力を持つ。都築京香に言われるまでは自覚がなかった為、彼女には感謝している。
・但し、”万物を殺す才能”と称されている事には納得がいっていない。

何処からか声が聞こえる。助けて、と叫ぶSOSの声が。
何処かに見えている。今まさに潰えようとしている命の光が。
ディザスタリカバリー。
嘗てUGNに所属していた際、自分はそう呼ばれていた。
どんな困難な災害であろうと要救助者の元へ”奇跡的に”駆けつける事が出来、”何故か”無傷で帰って来る。はたまた、災害を引き起こした元凶となるジャームを的確に見つけ出し、処理する。レネゲイドの存在を秘匿したいUGNにとって私の力はとても約に立つらしく、出番は多かった。
それでも私は不満だった。だってそうだろう。これだけの災害を解決して尚、私には文句ばかりが集う。
「街の被害を増やすな」「何故被害者を助けなかった」こんなものは序の口で、「ジャームを無闇矢鱈に殺害するな」なんてものまであった。
分かっていない、何も理解ってない。街の被害なんてモルフェウス系統のオーヴァードがいればすぐに直る。助けなかった被害者は既に助からなかった。そして、元凶となるジャームは一秒、いや一瞬でも早く殺すべきだ。元より奴らに救いなどないのだから。
幸いと言うべきか、異形と化したジャームが多かったのもあり、私は任務に対する文句こそ言われても、特に処分が下る事は無かった。

この時の私はこう思っていた。この才能は”命を守る為にある”のだ、と。
命の鼓動が聞こえる。命の灯が消えるのが分かる。私は、その”運命”を覆せる。

それが間違いだったと気づくのは少し後。とあるFHが起こした事件を解決した際だった。

キャラクター名：戸張 命(とばり みこと)

プレイヤー名：

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ

所持品			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
メモリー	1							
効果：	生存本能　死に掛けた思い出							
ウサギの耳	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果：	異常聴覚　必要なら知覚							
真昼の星	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果：	異常視覚							
探知する光	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果：	レーダーのように周辺を把握							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								